



2025年 1月17日
第122号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集情宣担当
ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



1/16 提案 機能保全体制等の見直しについて提案を受ける!①

東京地本は横浜地本と共に、首都圏本部から表題の提案を受けました。議論の概略は以下の通りです。

1. 実施内容

- (1) E235系への車種統一に伴う機能保全体制の見直し
- (2) 事務業務体制の見直し

2. 実施箇所

鎌倉車両センター(本所)

3. 実施時期

2025年 4月 1日

4. その他

施策実施に向けた必要な準備・教育を進めていく

【提案時の主なやりとり】

組 合	会 社
車両の置き換えに伴う車種の統一ということで、要員体制を見直すという認識でよいか。	<u>その通り。</u>
現行のE235系の機能保全の作業については、何ら変わるものではないという認識でよいか。	すでにE235系が導入されてから時間は経つが、スケジュールではダイヤ改正を超える可能性があるものの、 <u>E217系の運用は無くなりE235系に統一されるので、体制の見直しに至った。</u>
7名から5名になるが、具体的にどの部分が変わっていくのか。どういう作業が無くなるのか。5名がどのような作業を行うのか。	<u>E235系の特徴として、モニタリング保全を実施できる。運用と車両データを見ることで、検査を置き換えることができる。</u> 例えば、ブレーキなどの試験省略やドア開閉動作確認の置き換え等のメンテナンス省力化。こういったところで、要員的な見直しができる。
5名とは基本11両編成に対する人数なのか。	5名で基本11両編成を見る。 <u>付属4両編成はE217系とE235系共通で現行3名で対応している。今回の提案は、基本11両編成に対応する人数に対しての提案である。</u>
具体的に5名がどのような役割を担うのか。特徴的な変化点はあるのか。	E217系では上り方のユニットに3名、下り方のユニットに3名、それに加えて主任がいる。 <u>今回のE235系では、保全体制を変更したことにより、7名体制から5名体制にすることが可能となった。</u>
5名体制になることで主任の役割は変わるのか。	<u>今回の見直しで、機能確認や車上試験の一部を担うことも含めて、主任にやっていただく形になる。</u>
E217系の廃車について、年度内あるいは来年度の早い時期に廃車が完了するという認識でよいか。	E217系の廃車については予定の段階ではあるが、長野総合車両センターの受け入れ体制もあり、 <u>来年度の6月か夏前には廃車が完了する計画である。</u>
ダイヤ改正以降、E217系については車両の使用を停止し、検査が発生しない前提で置いておくということでのよいか。	<u>E235系で運用が賅えるようになれば、E217系を休車扱いにしていく。</u>
中原支所に関して、体制の変更はないという認識でよいか。	<u>中原支所の体制変更は無い。</u>
実施日が「2025年4月1日」となっているが、ここまでに必要な準備や教育については具体的にどのような想定をしているのか。	実際にE235系の保全が実施されているので、必要であればということで「その他」に記載している。
(E235系) 編成本数を教えていただきたい。	改正後は <u>基本編成が49本、付属編成が44本の予定</u> である。

次号②に続く!